

年度当初に教職員を守る体制作りを 越教組が年度末交渉

越教組ニュース

越教組は、3月7日に「来年度の教育行政への要望書」に基づき市教委と話し合いを持ちました。これは二〇二五年度の市の教育行政について、組合として要望を出し、市教委のメンバーが代わっても、ここで確認した内容を引き継いでもらうという重要な位置づけがあります。(※は話し合いとは直接関係ありません。)

年度当初に労安体制の確立を

【組合】各学校に、年度当初に労働安全衛生法にかかわる体制をきちんと確立させることを徹底すべきだ。その際、所属長代理の教頭は、衛生管理者・衛生推進者に選任しないこと。

【市教委】衛生管理者・衛生推進者は、職員会議において校務分掌と合わせて職員に伝えられるものだ。今年度も教頭からの選任はなかった。

【組合】校内のハラスメント相談員についても、年度当初に選任し、職員全員に周知する必要がある。

【市教委】教職員がその能力を十分に発揮できる勤務環境を確保するため、ハラスメントの防止および排除に努めることや、相談員の選任と周知をすることについて、校長会をはじめ機会あるごとに周知徹底および指導していく。

三六協定は職場全員で確認を

【市教委】越谷市では、令和元年度より事務職員および学校栄養職員については三六協定(時間外労働・休日労働に関する取りきめ。労基法36条に規定されている)を各学校において締結している。毎年度校長会を通じて全教職員に締結の趣旨を説明した上で手続きを進める旨を指導している。

※職員が知らないという職場がある。教員が残業問題

総授業時数

【組合】学校行事の精選・重点化、準備時間の短縮を図る等、総合的に総授業時間数の削減を図るよう指導すること。

【市教委】授業時数(標準時数と余剰時数の合計)のこと。学校行事、クラブ活動、児童会活動・生徒会活動を除くものが一〇八五時間以下の必要最小限の授業時数で教育課程を編成するよう留意するようにしている。

また、学校行事の精選重点化、準備時間の短縮を図る等、総合的に総授業時数の削減に努力している。



越谷市教職員組合
ホームページ



現場に背を向ける予算案

実質九〇〇〇人削減

政府は現場が最も強く求めている教職員拡充に背を向け、二五年度予算案に九〇〇〇人近い削減を盛り込みました。

報道機関は小学校の教科担任制の拡充等による約五八〇〇人の定数増を前向きに大きく報じていますが、その一方で少子化を口実とした自然減や学校統廃合に伴う定数減等を含むと一万四六〇〇人も定数減が同時に盛り込まれており、増減を合わせると実質はむしろ九〇〇〇人も定数削減になってしまうのです。

財源の半分は手当

また、教職調整額を段階的に一〇%まで引き上げる施策についても、その財源の半分を「教員向けの各種手当の廃止・縮減」で生み出そうとしていることが明らかに。

「最終的に調整額を廃止して残業代制度に移行(政府案)」した段階では「残業をしないと現行給与より低くなってしまおう」ということすら予想される。

のです。

条件の実現性なし

さらに、調整額を一〇%に引き上げる条件として月あたりの残業時間を二〇時間まで縮減するとしています。その方策については実現性が極めて厳しい状況です。方策無きまま削減を進めようとするれば、時短ハラスメント(シタハラ)が横行することは目に見えています。政府は、「授業準備や子どもと向き合う時間がない」という現場の声に真摯に向き合い、教職員定数の是正にこそ真っ先に取り組むべきです。

教員不足問題

【市教委】県費発令前には市で対応し、できるだけ早く臨時的任用教職員を配置できるようにしている。今後さらに他県も含めた他市町村教育委員会との連携を密にとるとともに関係機関や近隣の大学への積極的な働きかけ、市民の目に触れるような掲示物の作成、市のホームページの更新等を継続し、対応に努める。

今後県教育委員会に対

人権の集い

【組合】学校として関わらないようにすること。

【市教委】令和七年度の

して機会あるごとに越谷市の未配置未補充の現状と教職員の配置を強く要望していく。

※市独自の予算で対応をしなければならぬほどの問題だ。ずっと変わらない現状が信じられない。

実施については、現在のところ未定。本事業を通して、昨今課題となっているネットいじめ、ヤングケアラー、LGBTQ等にしむ子どもたちが多数おり、人権教育を通して、一人でも多くの子どもたちが当事者として考える機会としてもらいたい。

※学校に持ち込まないでという要求に一切答えてない。現場を守ろうという市教委の姿勢がみえない。